第 1 日　9 月 10 日（土）　9:00 ～ 10:30

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
9:00	**遺伝子解析** **西谷千佳子** 果 001 エピジェネティックな記憶によるカキの可塑的な性決定（第 2 報） ○赤木剛士[1,2]・Henry, Isabelle[3]・Comai, Luca[3]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]JST さきがけ，[3]カリフォルニア大デービス校）	**ニホンナシ** **松本　辰也** 果 022 2015 年秋～ 2016 年春の休眠期における茨城県，鳥取県，熊本県および鹿児島県のニホンナシ‘幸水’および‘新高’腋花芽の生育比較と発芽不良発生要因に関する考察 ○伊東明子[1]・坂上陽美[2]・藤丸治[3]・岩谷章生[3]・池田隆政[4]・阪本大輔[1]・杉浦俊彦[1]・森口卓哉[1]・草場新之助[1]（[1]農研機構果樹茶部門，[2]鹿児島農総セ，[3]熊本農研セ，[4]鳥取園試）	**ブドウ 1** **薬師寺　博** 果 046 満開期の環状剥皮処理がブドウ‘シャインマスカット’の果粒肥大に及ぼす影響 ○宇土幸伸・里吉友貴・小林和司（山梨果樹試）	**育種・栄養生理等（イチゴ）** **末吉　孝行** 野 001 一季成り性イチゴ新品種‘08-5-4’の育成 ○野崎克弘[1]・壹岐怜子[1]・早日隆則[2]・加藤三郎[1]・黒木尚[3]・力武弘[4]・黒木利美[5]・白木己歳[5]・渡司照久[5]・藤田和也[5]（[1]宮崎総農試，[2]宮崎東臼杵農林振興局，[3]宮崎南那珂農林振興局，[4]宮崎児湯農林振興局，[5]元宮崎総農試）	**栽培（ウリ科）** **金子　賢一** 野 025 高吸水性ポリマー添加育苗用土でのキュウリ苗の生育 ○中山秀貴・片桐優亮・笠井友美（福島農総セ）
9:15	果 002 カキ甘渋性に関するトランスクリプトーム解析 ○西山総一郎[1]・尾上典之[2]・河野淳[2]・佐藤明彦[2]・米森敬三[3]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]農研機構果樹茶部門，[3]龍谷大農学部）	果 023 マルチ処理がニホンナシの初期収量や幼木の生育に及ぼす影響 ○戸谷智明[1,2]・鈴木健[1]・藤井義晴[2]（[1]千葉農林総研セ，[2]東京農工大院）	果 047 ブドウ‘ナガノパープル’における果粒販売のための省力的果（花）房管理方法の検討（第 2 報）～果粒品質の比較～ ○佐藤政明[1]・鈴木剛伸[2]・桐崎力[1]・泉克明[1]・小松宏光[3]・玉井浩[1]（[1]長野果樹試，[2]長野南信農試，[3]長野農試）	野 002 イチゴ新系統‘久留米 65 号’の早期収量と開花特性 ○森下昌三・藤田敏郎・遠藤みのり・曽根一純（農研機構九沖農研）	野 026 メロン品種‘タカミ’の収穫適期判断手法の開発　第 1 報 果肉品質と各種指標の関係 ○竹内大造[1]・吉橋泰彦[2]・草川知行[1]・大木浩[1]（[1]千葉農林総研セ，[2]千葉山武農事務所）
9:30	果 003 キウイフルーツにおける性決定因子の同定（第一報） ○大谷遥[1]・赤木剛士[1,2]・森本拓也[1]・別府賢治[3]・片岡郁雄[3]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]JST さきがけ，[3]香川大農学部）	果 024 かん水中の溶存酸素量が根圏制御栽培法ニホンナシ生育に及ぼす影響 ○大谷義夫[1]・北原智史[1]・中山賀央[2]（[1]栃木農試，[2]環緑株式会社）	果 048 3 種類の台木に接ぎ木した垣根仕立て短梢剪定栽培‘甲州’の特性 ○渡辺晃樹[1]・三宅正則[2]・小松正和[3]・恩田匠[4]（[1]山梨果樹試，[2]山梨峡東地域普セ，[3]山梨工技セ，[4]山梨工技セ支所ワインセ）	野 003 温度管理および土壌中窒素量がイチゴ品種‘栃木 i27 号’における着色不良果の発生に及ぼす影響 ○小林泰弘・畠山昭嗣（栃木農試いちご研）	野 027 低温がニガウリの受精能力に及ぼす影響 ○谷合直樹・平田雅輝（沖縄農研セ）
9:45	果 004 RAD-Seq 法を用いたオウトウの高密度統合連鎖地図の開発とバラ科果樹ゲノムとの比較解析 ○白澤健太[1]・五十鈴川寛司[2]・池永充伸[3]・齋藤裕太郎[2]・平川英樹[1]・磯部祥子[1]（[1]かずさ DNA 研，[2]山形農総研セ園試，[3]道総研中央農試）	果 025 ニホンナシの授粉樹におけるビニル被覆および低樹高仕立てが開花期と花粉発芽率および作業効率におよぼす影響 ○島田智人・前島秀明・浅野亘・塚田茜・片野敏夫（埼玉農技研セ）	果 049 EOD 加温が早期加温栽培ブドウ‘デラウェア’の葉色，果実品質および燃料消費量に及ぼす影響 ○栂野康行[1,2]・安田雄治[1]・松本敏一[3]・竹村圭弘[4]・田村文男[4]（[1]島根農技セ，[2]鳥取大院連合農学研究科，[3]島根大生物資源科学部，[4]鳥取大農学部）	野 004 イチゴ Fra a の花器官における発現解析 ○石橋美咲[1]・奈邉健[2]・新田陽子[3]・鶴田宏樹[4]・厳原美穂[5]・宇野雄一[1]（[1]神戸大院農学研究科，[2]摂南大薬学部，[3]岡山県立大保健福祉学部，[4]神戸大連携創造本部，[5]（株）ビオスタ）	**育種・環境制御（ピーマン）** **吉田　千恵** 野 028 青枯病・疫病抵抗性台木系統試交 8 号の育成と栽培特性 ○篠原陽子[1]・杉田亘[1]・大田哲史[1]・壹岐怜子[1]・杉尾昌嗣[1]・長田龍太郎[2]・黒木利美[2]・野崎克弘[1]・加藤三郎[1]・中村香奈子[3]（[1]宮崎総農試，[2]元）宮崎総農試，[3]児湯農林振興局）
10:00	**遺伝子解析・組織培養等** **深澤（赤田）　朝子** 果 005 ブドウ（*Vitis vinifera* L.）における CRISPR/Cas9 を用いた標的遺伝子の改変 ○中島育子[1]・遠藤真咲[2]・伴雄介[1,*]・東暁史[1]・尾上典之[1]・伊東明子[1]・今井剛[1]・佐藤明彦[1]・森口卓哉[1]・山本俊哉[1]・土岐精一[2]（[1]農研機構果樹茶部門，[2]農研機構生物機能利用研，*現農研機構西日本農研）	**不和合** **齋藤　隆徳** 果 026 ニホンナシの自家不和合性に関する研究．（第 66 報）‘晩三吉’の自家不和合性の弱さは種子親とした時に遺伝する． ○平塚伸・掛田克行・名田和義（三重大院生物資源学研究科）	**ブドウ 2** **宇土　幸伸** 果 050 華高冷地におけるブドウ‘ピオーネ’成熟期の酸含量推定法 ○金澤淳・中島譲・安井淑彦（岡山農林水産総セ農研）	**栽培（イチゴ）** **鶴山　浄真** 野 005 イチゴ促成栽培における日射条件の減少が生育，収量および光合成産物の分配に及ぼす影響 ○遊佐真奈美[1]・本間由紀子[1]・後藤直子[1]・菅野亘[1]・岩崎泰永[2]（[1]株式会社 GRA，[2]農研機構野菜花き部門）	野 029 夏秋パプリカ栽培における遮光率の違いが着果率と収量に及ぼす影響 ○古野伸典・藤島弘行（山形庄内総合支庁農技普課産地研）
10:15	果 006 CRISPR/Cas9 によるリンゴ *Phytoene Desaturase* 遺伝子のゲノム編集 ○西谷千佳子[1]・平井徳美[1]・小森貞男[2]・和田雅人[1]・岡田和馬[1]・刑部敬史[3]・山本俊哉[1]・刑部祐里子[3]（[1]農研機構果樹茶部門，[2]岩手大農学部，[3]徳島大生物資源産業学部）	果 027 ニホンナシの自家不和合性に関する研究．（第 67 報）　自家不和合性の強さと花粉の糖への反応との関係 ○坂真那美・名田和義・平塚伸（三重大院生物資源学研究科）	果 051 電流処理がブドウの果実品質に及ぼす影響 ○三神允周[1]・森大輔[2]・鈴木俊二[1]（[1]山梨大ワイン研セ，[2]日本振興（株）・環境事業部）	野 006 イチゴ間欠冷蔵処理における非低温処理時の環境条件が処理効果に及ぼす影響 ○山崎敬亮[1]・松崎朝浩[2]・大橋隆[3]・前田衡[4]・濱登尚徳[5]・東卓弥[6]・西本登志[7]・矢野孝喜[1]・吉田裕一[8]（[1]農研機構西日本農研，[2]香川農試，[3]栃木農試いちご研，[4]長崎農技セ，[5]新潟農総研園研セ，[6]和歌山農試，[7]奈良農研，[8]岡山大院環境生命科学研究科）	野 030 パプリカの光照射追熟における光源の種類が一重項酸素消去能（SOAC）に及ぼす影響 ○河崎靖[1]・若木学[2]・石川（高野）祐子[2]（[1]農研機構野菜花き部門，[2]農研機構食品研）

第 1 日　9 月 10 日（土）　9:00 ～ 10:30

野菜 III N323	野菜 IV N324	花き I N305	花き II N306	利用 I N307	時 間
育種（タマネギ・ネギ） **嘉見　大助** 野 046 涙の出ない，辛みのないタマネギの作出と特性解析　第二報 ○加藤雅博[1]・正村典也[1]・正野仁慈[1]・岡本大作[2]・今井真介[1]（[1]ハウス食品グループ本社（株），[2]（有）植物育種研）	**病害** **関根健太郎** 野 069 ビタミン C を利用したアスパラガスのウイルスフリー化の改良およびウイルス感染が及ぼす内生成分への影響の解析 ○武井俊大[1]・平田智恵子[1]・園田高広[2]・実山豊[1]・鈴木卓[1]・志村華子[1]（[1]北大院農，[2]酪農学園大農食環境学群）	**開花生理・栽培 1** **中野　善公** 花 001 キクの赤色光による効果の高い暗期中断の時間と時間帯 ○白山竜次・木戸君枝（鹿児島農総セ）	**品種・遺伝資源** **落合　正樹** 花 025 奇形花の発生が少ない夏秋輪ギク「白涼」の育成 ○久村麻子[1]・峯大樹[2]・阿部知子[3]・林依子[3]・平野智也[4]（[1]長崎農技セ，[2]長崎農園課，[3]理研仁科セ，[4]宮崎大農学部）	**非破壊解析** **喜多　正幸** 利 001 ウンシュウミカン‘北原早生’の Brix および近赤外分光法による β- クリプトキサンチン濃度の評価 ○江嶋亜祐子[1]・阪中達幸[2]・浦広幸[1]（[1]福岡農林試資源セ，[2]（一財）雑賀技術研）	9:00
野 047 毎年開花による極早生タマネギの世代促進の可能性について ○本間義之・菊池佑弥（静岡農林技研）	野 070 *Capsicum* 属の葉が持つ RNase 活性の特徴と遺伝的特性 ○細川宗孝・宮下英理子・恩田麻由・安井康夫（京都大院農学研究科）	花 002 アルストロメリアの切り花収量と品質に対する二酸化炭素施用と施肥窒水量の影響 守谷栄樹[1]・○神谷勝己[2]・鈴村素弘[1]（[1]中部電力（株）エネルギー応用研，[2]長野野菜花き試）	花 026 桃色秋輪ギク新品種‘佐賀 RK1 号’の育成 ○坂本健一郎[1]・髙取由佳[1]・宮崎雄太[1,3]・千綿龍志[1,4]・松尾洋一[1,5]・川﨑孝和[1,6]・松村司[1]・德永敦子[1,7]・大藪榮興[2]（[1]佐賀農試研セ，[2]元佐賀農試研セ，[3]佐賀県庁，[4]東松浦農改普セ，[5]佐賀上場営農セ，[6]佐賀農大，[7]杵島農改普セ）	利 002 タマネギ内部腐敗球の非破壊判別技術の開発（第 4 報）出荷時期および年次の違いがタマネギ腐敗球の判別精度に及ぼす影響 ○西野勝[1]・黒木信一郎[2]・出口陽平[3]・重藤和明[3]・中野伸一[1]・村上和秀[1]（[1]兵庫農総セ，[2]神戸大院農学研究科，[3]（一財）雑賀技術研）	9:15
野 048 栄養繁殖を利用した極早生タマネギの短期育種への取り組み ○菊池佑弥・本間義之（静岡農林技研）	野 071 トマトにおける感染性クローンを用いた高確率での TYLCKaV 接種法の開発 ○本間鹿波[1]・Kesumawati, Elly[2]・神崎真哉[1]・小枝壮太[1]（[1]近畿大院農学研究科，[2]Syiah Kuala University）	**開花生理・栽培 2** **二村　幹雄** 花 003 トルコギキョウ花弁数増加を目指した施設内の温度制御 ○川勝恭子[1]・嶋津光鑑[2]・道園美弦[1]・牛尾亜由子[1]・福田直子[1]（[1]農研機構野菜花き部門，[2]岐阜大）	花 027 イギリスにおける高日持ち性形質を持つスイートピー品種の探索 ○中村薫[1]・パーソンズロジャー[2]・ゲリーストリダム[3]・倉永泰代[1]・長友広明[1]（[1]宮崎総農試，[2]グリーンライインズナーサリー，[3]ロジャーパーソンズスイートピー）	利 003 ホウレンソウの窒素含有率の非破壊測定方法の検討 ○鎌田えりか・石井孝典・小林透・鈴木崇之（農研機構九沖農研）	9:30
野 049 濃緑色葉ネギ品種の葉色特性 ○藤井宏栄[1]・日高輝雄[1]・西田美沙子[1]・諸岡譲[2]・三小田崇[2]・執行正義[3]（[1]山口農林総技セ，[2]中原採種場（株），[3]山口大院創成化学研究科）	野 072 オーストラリアで育成されたウイルス抵抗性カボチャの日本系ウイルスに対する反応 ○床田真理・門馬法明・大泉利勝・伊東正（（公財）園芸植物育種研）	花 004 根域環境制御装置（N.RECS）を使用した根域加温によるインパチェンスとダリアの省エネルギー栽培 ○村松嘉幸・大島秋穂・小田部桃子・菅田悠斗・窪田聡・腰岡政二・佐瀬勘紀（日本大生物資源科学部）	花 028 低照度下（照度 1%でも）の環境下で育つ植物 ○田中孝幸（東海大農学部）	利 004 非破壊振動法で判別できるスイカの割れサイズ ○秋元秀美・櫻井直樹（広島大院生物圏科学研究科）	9:45
栽培（ネギ・タマネギ） **村山　徹** 野 050 ネギのセル育苗における施肥量は葉齢に影響する ○西畑秀次[1]・浅井雅美[1]・若生忠幸[2]（[1]富山農総技セ園研，[2]農研機構野菜花き部門）	**生理障害・その他** **増田順一郎** 野 073 葉ゴボウのピッティング症状の発生と葉柄長との関連性 ○山崎基嘉[1]・上田善紀[2]・佐野修司[1]・鈴木真実[1]・鈴木敏征[1]・池田高紀[3]（[1]大阪環境農林水産総研，[2]大阪中部農と緑の総合事務所，[3]帝塚山学院大）	花 005 ヒートポンプを用いた夜間冷房によるスイートピーの落蕾抑制 木下良一[1]・○森義雄[2]（[1]スイートピー生産者，[2]岡山農研）	**育種・マーカー 1** **中村　薫** 花 029 栃木農試リンドウ遺伝資源における花色関連遺伝子の解析 ○生井潔・渡辺強・舩山卓也・若桝睦子（栃木農試）	**貯蔵・鮮度保持** **森　仁志** 利 005 カキ‘富有’の春節に向けた輸出用長期貯蔵技術の開発 ○鈴木哲也[1]・中野浩平[2]・新川猛[1]・山田毅[3]・櫻井直樹[4]（[1]岐阜農技セ，[2]岐阜大院連合農学研究科，[3]住友ベークライト（株），[4]広島大院生物圏科学研究科）	10:00
野 051 東北地域における直播タマネギの畝上溝底播種およびリン酸局所施肥の効果 ○松尾健太郎[1]・山本岳彦[2]・山崎篤[2]（[1]農研機構九沖農研，[2]農研機構東北農研）	野 074 秋冬ニンジン栽培における生育初期の土壌水分がエクボ症の発生に及ぼす影響 ○高野幸成・鈴木健司（千葉農林総研セ）	**花色・香り** **北村　嘉邦** 花 006 キク属二倍体野生種白色花弁で発現しているカロテノイド酸化開裂酵素遺伝子の多様性 王力超・樋口洋平・○柴田道夫（東京大院農学生命科学研究科）	花 030 落葉性花木における休眠枝緑枝接ぎ法の検討 ○巣山拓郎・井樋昭宏（福岡農林業総試資源活用研セ）	利 006 マンゴー 16 品種の完熟果実における貯蔵中および貯蔵後の弾性指標と果実品質の特性並びに日持ち性評価 ○文室政彦[1]・前田隆昭[2]・櫻井直樹[3]（[1]近畿大附属農場，[2]南九州大環境園芸学部，[3]広島大院生物圏科学研究科）	10:15

第 1 日　9 月 10 日（土）　10:30 ～ 12:00

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
10:30	果 007 リンゴ根でのカラムナー候補遺伝子の発現解析 ○和田雅人・岡田和馬・森谷茂樹・花田俊男・守谷（田中）友紀・本多親子・岩波宏・阿部和幸（農研機構果樹茶部門）	果 028 ニホンナシ *S2* 遺伝子座のゲノム構造および発現遺伝子解析 ○西村遼太郎・藤本龍・安田（高崎）剛志（神戸大院農学研究科）	果 052 野生ヤマブドウ果実における大きさ，糖，アントシアニンおよびポリフェノール含量の年次間変動 ○堀川謙太郎・志村華子・実山豊・鈴木卓（北海道大院農）	野 007 促成栽培における四季成り性イチゴ‘みやざきなつはるか’の定植時期と定植苗の花房の有無が収量に及ぼす影響 ○壹岐怜子・野崎克弘・加藤三郎（宮崎総農試）	**遺伝資源・成分等（トマト・トウガラシ）** **大山　暁男** 野 031 単為結果処理によるトウガラシ果実中の Capsaicin, Dihydrocapsaicin および Capsiate の増加 ○畠山佳奈実[1]・朴永俊[3]・根本和洋[2]・南峰夫[3]・松島憲一[2]（[1]信州大院理工（農），[3]信州大農学部，[2]信州大院農学研究科）
10:45	**マーカー等** **神崎　真哉** 果 008 全ゲノム配列解読によるウンシュウミカン系統間変異の検出と DNA マーカー化 ○清水徳朗[1]・吉岡照高[1]・太田智[1]・喜多正幸[1]・望月孝子[2]・谷澤靖洋[2]・神沼英里[2]・中村保一[2]（[1]農研機構果樹茶部門，[2]国立遺伝研）	果 029 ニホンナシ *S3-RNase* 周辺 BAC コンティグの塩基配列解析 ○武矢悠太郎・野村直希・藤本龍・安田（高崎）剛志（神戸大院農学研究科）	**イチジク・熱帯果樹** **鉄村　琢哉** 果 053 イチジクとイヌビワの種間雑種由来のイチジク株枯病抵抗性 BC1 の獲得 ○薬師寺博[1]・森田剛成[2]・軸丸祥大[2]（[1]農研機構果樹茶部門，[2]広島総研農技セ）	野 008 一回目の間欠冷蔵処理日数と育苗時の栽植密度がイチゴ‘女峰’の開花に及ぼす影響 ○金城朱理・花田惇史・吉田裕一・後藤丹十郎・安場健一郎・田中義行（岡山大院環境生命科学研究科）	野 032 ナノバブル水を用いた養液栽培トマトにおけるトランスクリプトーム解析 ○河鰭実之[1]・Liu, Shu[1]・西川仁[2]・櫻井伸樹[2]・大下誠一[1]（[1]東京大院農学生命科学研究科，[2]JNC（株）水俣研）
11:00	果 009 パインアップルにおける果肉色関連形質の QTL 解析 ○奈島賢児[1,2]・竹内誠人[3]・諸見里知絵[3]・正田守幸[4]・浦崎直也[4]・太郎良和彦[4]・菅原晃美[5]・西場洋一[5,6]・保坂ふみ子[2]・寺上伸吾[2]・西谷千佳子[2]・國久美由紀[2]・山本俊哉[2]（[1]日本大生物資源科学部，[2]農研機構果樹茶部門，[3]沖縄農研セ名護，[4]沖縄農研セ，[5]農研機構九沖農研，[6]鹿児島大隅加工技研セ）	果 030 サクラ属 *S locus F-box-likes*（*SLFLs*）のペチュニア形質転換体における機能解析 ○森本拓也・渡邉美佳子・田尾龍太郎（京都大院農学研究科）	果 054 退緑条斑症状を呈する台湾産パイナップル苗からディープシーケンスによるウイルス検出 ○柳澤広宣[1]・池城隆明[2]・夏秋啓子[3]・池上亮太[2]・関根麗子[4]・関根健太郎[4]（[1]農研機構中央農研，[2]那覇植防，[3]東京農大国際，[4]琉球大）	**栽培・環境制御** **（イチゴ）** **野崎　克弘** 野 009 イチゴ促成栽培における光合成促進のための LED 補光が収量及び生育に及ぼす影響 ○後藤直子[1]・本間由紀子[1]・遊佐真奈美[1]・菅野亘[1]・岩崎泰永[2]・鈴木廣志[3]・米田正[3]・彦坂晶子[4]・石神靖弘[4]・後藤英司[4]（[1]株式会社 GRA，[2]農研機構野菜花き部門，[3]昭和電工株式会社，[4]千葉大院園芸学研究科）	野 033 トマトモデル品種マイクロトムの大規模変異集団の発展 ○星川健[1]・四方雅仁[1,2]・有泉亨[1]・福田直也[1]・久保康隆[3]・金山喜則[4]・青木考[5]・江面浩[1]（[1]筑波大生命環境系，[2]農研機構生物機能，[3]岡山大院環境生命科学研究科，[4]東北大院農学研究科，[5]大阪府大院生命環境科学研究科）
11:15	果 010 シーベリーにおける雌雄識別 DNA マーカーの開発に向けた RAPD 分析 横田勇斗[1]・河合義隆[2]・菊地理絵[1]・近藤勝彦[3]・○朝倉史明[1]（[1]神奈川大工学部，[2]東京農大農学部，[3]（財）進化生物学研）	**核果類** **中村　ゆり** 果 031 分光色差計を用いたオウトウの着色程度の評価法 ○多田史人・黒田博・安達栄介・佐藤裕則（山形農総研セ園試）	果 055 パッションフルーツにおける成熟期の温度と果実品質との関係 ○島田温史[1]・倉本薫[2]・朴炳宰[2]・橋本文雄[1,2]・山本雅史[1,2]（[1]鹿児島大院連合農学研究科，[2]鹿児島大農学部）	野 010 人工光型植物工場における日長時間と光強度の違いが四季成りイチゴの生育および収量に及ぼす影響 ○前田和也・伊藤善一・玉置雅彦（明治大）	
11:30		果 032 ウメ‘露茜’の子備枝発生を目的としたせん定法 ○下博圭[1]・竹中正好[1,4]・北村祐人[1,2]・川村実[3,5]・佐原重広[3,6]（[1]和歌山果樹試うめ研，[2]京都大院農学研究科，[3]和歌山日高振興局，[4]和歌山西牟婁振興局，[5]和歌山経営支援課，[6]和歌山農林水産総務課）		野 011 イチゴ多植栽培システムでの‘かおり野’子苗直接定植技術によるイチゴ長期多収生産技術の確立 ○鶴山浄真[1]・鹿嶋英一郎[2]（[1]山口農林総技セ，[2]株式会社サンポリ）	
11:45		果 033 冬季剪定がニホンスモモ‘サマーエンジェル’，‘サマービュート’および‘貴陽’の新梢生育と果実品質に及ぼす影響 ○富田晃[1]・萩原栄揮[1]・山下（土橋）路子[2]・新谷勝広[1]（[1]山梨果樹試，[2]山梨峡南農務事務所）		野 012 イチゴ高設栽培における芽数管理および栽植密度が収量および品質に及ぼす影響 ○本間由紀子[1]・後藤直子[1]・菅野亘[1]・遊佐真奈美[1]・岩崎泰永[2]（[1]株式会社 GRA，[2]農研機構野菜花き部門）	

第 1 日　9 月 10 日（土）　10:30 ～ 12:00

野菜 III N323	野菜 IV N324	花き I N305	花き II N306	利用 I N307	時 間
野 052 夏季栽培用ワケギ‘広島 12 号’と‘広島 13 号’の種球生産時の定植，掘り上げ時期および長日処理が分球数と鱗茎肥大に及ぼす影響 ○古田貴音[1]・川口岳芳[1,2]・柳本裕子[1]（[1]広島総技研農技セ , [2]九州大院生物資源環境科学府）	野 075 菌根菌観察のための新技術 ○石井孝昭・天内和人（徳山高専）	花 007 チューリップの香りの官能評価 ○岸本久太郎[1]・辻俊明[2]・大久保直美[1]（[1]農研機構野菜花き部門 , [2]新川農振セ）	花 031 *R. multiflora* と *R.* “PEKcouge1” の交雑後代のバラ根頭がんしゅ病抵抗性 ○山本竜明[1]・村田強[1]・落合正樹[2]・福井博一[2]（[1]岐阜大院応用生物科学研究科 , [2]岐阜大応用生物科学部）	利 007 減圧下での 1-MCP ポストハーベスト処理がブロッコリー花蕾の鮮度に及ぼす影響 ○古川智子[1]・榊原啓高[2]・志村華子[1]・実山豊[1]・鈴木卓[1]（[1]北海道大院農 , [2]ローム・アンド・ハース・ジャパン（株））	10:30
栽培・養液栽培 **（アスパラガス等）** **甲村　浩之** 野 053 アスパラガスの新栽培法（採りっきり栽培）の開発 ○蕪野有貴[1]・津田渓子[2]・田口巧[2]・今井峻平[1]・唐天利[1]・松永邦則[3]・元木悟[2]（[1]明治大院農学研究科 , [2]明治大農学部 , [3]バイオニアエコサイエンス（株））		花 008 芳香シクラメン *Flavonol synthase*（*FLS*）遺伝子の単離と解析 ○秋田祐介[1]・北村智[2]・野田尚信[3]・石坂宏[4]（[1]埼工大院工学研究科 , [2]量研機構量子ビーム , [3]農研機構花き研 , [4]埼玉花振セ）	花 032 サクラの歴史と文化（鎌倉時代から現代） ○細木高志（島根大生物資源科学部）		10:45
野 054 アスパラガス改植法の検討（第 4 報） ○池内隆夫（香川農試）		**遺伝子解析** **秋田　祐介** 花 009 ファレノプシスの GA による花成誘導機構の RNA シーケンス解析 ○窪田聡・佐野仁美・福田直也・腰岡政二（日本大生物資源科学部）	**育種・マーカー 2** **巣山　拓郎** 花 033 プルディア原種および栽培品種の染色体数とフローサイトメトリーによる倍数性の調査 ○大槻優華[1]・宮下千枝子[1]・菊池真司[2]・佐々英徳[2]（[1]東京農総研セ , [2]千葉大園芸学研究科）		11:00
野 055 窒素形態が水耕ミズナの生育と品質に及ぼす影響 ○福田宇恭[1]・近藤謙介[2]・中田昇[2]・山口武視[2]・野波和好[2]・松添直隆[3]（[1]鳥取大院農学研究科 , [2]鳥取大農学部 , [3]熊本県立大環境共生学部）		花 010 緑色花ユリにおける B クラス遺伝子群の発現を制御する遺伝子のゲノム配列と発現量の解析 ○安井俊樹[1]・梁修静[2]・北村嘉邦[2]（[1]信州大院総合理工学研究科 , [2]信州大農学部）	花 034 早期に花色が変化するノリウツギ（ピラミッドアジサイ）系統 24–1 の育成 ○穴澤拓未・望月寛徳・藤木俊也（山梨総農技セ）		11:15
野 056 植物工場における水耕栽培を利用したジオウの種イモの大量生産技術の開発 ○南谷健司[1]・田坂恭嗣[2]・田林紀子[2]・松村健[2]・柴田浩樹[3]・塚田愛[3]・丸山真一[4]（[1]北海道大院農学研究院 , [2]産総研 , [3]（株）ハーバー研究所 , [4]（株）朝日工業社）		花 011 2 本鎖 RNA 結合タンパク質を用いたウイロイド網羅的検出法の確立 ○関根健太郎[1]・白川明日佳[2]・藤崎明香[2]・関根麗子[1]（[1]琉球大農学部 , [2]（財）岩手生工研セ）	花 035 アジサイの花の外縁白色型覆輪模様の遺伝様式と遺伝型の解析 ○小玉雅晴[1,2]・田邊雄太[1]・中山真義[2,3]（[1]栃木農試 , [2]筑波大院生命環境科学研究科 , [3]農研機構野菜花き部門）		11:30
		花 012 NGS 大量リードデータのサブリード比較によるアマ科植物の異形花型自家不和合性遺伝子座の解析 ○牛島幸一郎[1]・赤木剛士[2]・池田和生[3]・七條由衣[4]・島田浩平[4]・中野龍平[1]・久保康隆[1]（[1]岡山大院環境生命科学研究科 , [2]京都大院農学研究科 , [3]山形大農学部 , [4]岡山大農学部）	花 036 アジサイの八重咲き性連鎖マーカーの簡易検出法の検討 ○阿久津翠[1]・和氣貴光[2]・黒倉健[3]・小玉雅晴[1]・鈴木恵美子[1]・岡田香織[1]・生井潔[1]（[1]栃木農試, [2] 栃木塩谷南那須農振事務所, [3] 宇都宮大農学部）		11:45

第 2 日　9 月 11 日（日）　9:00 ～ 10:30

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
9:00	**カンキツ 1** **山本　雅史** 果 011 ウンシュウミカン新品種‘長崎果研原口 1 号の特性’ ○早崎宏靖[1]・古川忠[2]・園田真一郎[1]・林田誠剛[3]・谷本恵美子[1]・高見寿隆[4]・根角博久[5]（[1]長崎農技セ果樹，[2]長崎農大，[3]長崎農技セ，[4]長崎農産園芸課，[5]農研機構九沖農研）	**リンゴ 1** **伴野　潔** 果 034 リンゴ‘ふじ’の果肉の細胞分裂に及ぼす気温の影響 ○小林達・葛西智（青森産技セりんご研）	**ベリー類** **渡辺　慶一** 果 056 ラズベリー‘ワインダーベイレッド’とナワシロイチゴの戻し交雑より得られた刺無系統 BC1 No. 2 の繁殖 ○金子博[1]・森本大樹[2]・執行みさと[3]・大和田大樹[3]・國武久登[4]・小松春喜[3]（[1]東海大農学部農学教育実習セ，[2]東海大院農学研究科，[3]東海大農学部，[4]宮崎大農学部）	**養液栽培・栄養生理（トマト）** **伊達　修一** 野 013 異なる濃度の NaCl 処理が NFT 栽培トマトの花房第 3 段までの果実品質に及ぼす影響 ○菊地郁[1]・安孫子静香[1]・後藤千彩音[2]・伊藤瑞穂[2]・岩崎泰永[3]（[1]宮城大食産業学部，[2]（株）GRA，[3]農研機構野菜花き部門）	**遺伝子解析 1** **河鰭　実之** 野 034 PGDBj より新たに公開した「育種向け DNA マーカー検索ページ」について ○柴谷多恵子[1]・白澤沙知子[1]・市原寿子[1]・浅水恵理香[2]・平川英樹[1]・田畑哲之[1]（[1]（公財）かずさ DNA 研，[2]龍谷大農学部）
9:15	果 012 ‘土佐文旦’の種なし果実生産における適正着果管理 ○廣瀬拓也[1,2]・山下翔人[1]・小原敬弘[1]・谷岡英明[1]（[1]高知農技セ果樹試，[2]愛媛大院連合農学研究科）	果 035 リンゴの樹体ジョイント仕立てによる栽培法の開発　3. 斜面における接続方向の影響 ○武田甲[1]・柴田健一郎[2]（[1]神奈川農技セ北相，[2]神奈川農技セ）	果 057 自然条件下で連続開花性を示すサザンハイブッシュブルーベリー‘ブルーマフィン’の花成様式 ○松崎隆介・森本拓也・山根久代・田尾龍太郎（京都大院農学研究科）	野 014 極少量培地耕におけるトマトの着色不良果の発生を軽減するための培養液組成の検討 ○切岩祥和・Zhang, Yiting・鈴木大地・鈴木克己・糠谷明（静岡大農学部）	野 035 トマト Phosphoenolpyruvate carboxykinase（PEPCK）の発現は果実糖含量，実生生長に影響する ○松倉千昭[1]・黄永興[2]・野中聡子[1]・福田直也[1]・江面浩[1]（[1]筑波大生命環境系，[2]筑波大生命環境科学研究科）
9:30	果 013 カンキツ類台木の挿し木における発根促進剤および採穂時期の違いが発根に及ぼす影響 ○永嶋友香[1]・濵﨑櫻[1]・青島加奈子[2]（[1]静岡農林技研果樹研セ，[2]静岡衛生課）	果 036 リンゴ果実の日焼け発生に関する要因について（第2報）‘ふじ’における日焼け発生時の果実表面温度と気象条件について 福田勉[2]・○市川悦子[1]・楢本克樹[1]・前島勤[1]・船橋徹郎[1]・小松宏光[3]・玉井浩[1]（[1]長野果樹試，[2]下伊那農改セ，[3]長野農試）	果 058 ブルーベリー果実の含有種子数および肥大成長と花粉親品種との関係 ○土井研一[1]・野嵜諒一[1]・岩﨑直人[2]（[1]明治大院農学研究科，[2]明治大農学部）	野 015 日本海側地域でのトマト低段密植・閉鎖型養液栽培における日射量を指標とする養分供給量の検討 ○遠藤昌伸[1]・相川敏之[1]・山澤康秀[1,2]（[1]新潟農総研園研セ，[2]新潟新津農振部）	野 036 トマト ADP-glucose pyrophosphorylase 遺伝子の発現抑制が組織強度，細胞壁多糖構成に及ぼす影響 ○鈴木春香[1]・宮地桃子[1]・Yves, Gibon[2]・Christophe, Rothan[2]・野中聡子[3]・福田直也[3]・岩井宏暁[3]・江面浩[3]・松倉千昭[3]（[1]筑波大院生命環境科学，[2]フランス国立農学研（INRA）ボルドー研，[3]筑波大生命環境系）
9:45	果 014 新植や改植の合理化を目的としたウンシュウミカン苗の成長解析 ○矢野拓[1]・森崎章好[1]・松原公明[1]・北野雅治[2]（[1]大分農林水研，[2]九州大院生資環）	果 037 植物成長調節剤がリンゴの果実肥大に及ぼす影響 ○田中紀充[1]・岸優花[1]・小島夏実[1]・松本省吾[2]・小森貞男[3]・荒川修[1]（[1]弘前大農学生命科学部，[2]名古屋大院生命農学研究科，[3]岩手大農学部）	**キウイフルーツ** **朝隈　英昭** 果 059 キウイフルーツかいよう病に対する品種抵抗性の評価 ○宮田信輝[1]・兵頭紋佳[1]・福田哲生[2]・坂下亨[3]・清水伸一[1]（[1]愛媛果樹研セ，[2]香川農試府中果樹研，[3]香川生流課）	野 016 培養液への NaCl 添加がトマトの生育におよぼす影響の品種間差異 ○後藤千彩音[1]・菅野亘[1]・菊地郁[3]・岩崎泰永[2]（[1]（株）GRA，[2]農研機構野菜花き部門，[3]宮城大食産業学部）	野 037 トマトにおける *AgpL1* および *AgpS1* 遺伝子の過剰発現に伴う果実形質への影響 ○門脇颯斗[1]・後藤幸久[1]・野中聡子[2]・福田直也[2]・江面浩[2]・松倉千昭[2]（[1]筑波大院生命環境科学，[2]筑波大生命環境系）
10:00	**カンキツ 2** **國賀　武** 果 015 ‘かんきつ中間母本農 6 号’における着果管理と収穫方法による省力化の検討 ○兼常康彦・宮田明義・西岡真理（山口農林総技セ）	**リンゴ 2** **森谷　茂樹** 果 038 赤果肉リンゴの果肉着色に及ぼす光の影響 ○楢本克樹[1]・前島勤[1]・船橋徹郎[1]・市川悦子[1]・福田勉[2]・小松宏光[3]・玉井浩[1]（[1]長野果樹試，[2]下伊那農改セ，[3]長野農試）	果 060 キウイフルーツ‘ヘイワード’由来“毛じ”枝変わり系統の果実特性 ○周藤美希[1]・八幡昌紀[2]・成瀬博規[1]・増田幸直[1]・向井啓雄[2]（[1]静岡大技術部，[2]静岡大農学部）	**栽培 1（トマト）** **遠藤　昌伸** 野 017 トマト幼苗の生長に及ぼすウルトラファインバブル施与の影響 ○山本純之[1]・西川仁[2]・櫻井伸樹[2]・前田重雄[3]・西原一寛[3]・林孝洋[1]（[1]近畿大農学部，[2]JNC 株式会社，[3]IDEC 株式会社）	**遺伝子解析 2** **黒倉　健** 野 038 メロンの遺伝子発現情報解析データベース「Melonet-DB」 ○矢野亮一・野中聡子・江面浩（筑波大生命環境系）
10:15	果 016 カンキツ‘はれひめ’のマルドリ方式栽培による 5 年間の少量多頻度液肥施用による収量安定化効果 ○三堂博昭[1]・根角博久[2]・藤原文孝[1]・重松幸典[1]（[1]愛媛農研果樹研セ，[2]農研機構九沖農研）	果 039 リンゴ花弁におけるアントシアニンの分布と MYB 転写因子との関係 ○沢田葵・渡邉敬文・伴野潔（信州大農学部）	果 061 キウイフルーツ花粉専用雄品種‘さぬき花粉力’の特性について ○水谷亮介・福田哲生・真鍋徹郎・末澤克彦（香川農試府中果樹研）	野 018 弱光条件下における昼温の違いが果菜類の乾物生産量に及ぼす影響 ○龍勝利[1]・徳永恵美[2]・井手治[1]（[1]福岡農林試資源セ，[2]福岡農林試）	野 039 イチゴのハプロタイプ同定に向けた全ゲノム解析 平川英樹[1]・白澤健太[1]・永野聡一郎[1]・長崎英樹[1]・前田ふみ[2]・○磯部祥子[1]（[1]かずさ DNA 研，[2]千葉農林総研セ）

第 2 日　9 月 11 日（日）　9:00 ～ 10:30

野菜 III N323	花き I N305	利用 I N307	時 間
育種・遺伝資源（アブラナ科等） **塚崎　光** 野 057 ハクサイ類の根こぶ病抵抗性遺伝子座 *Crr1* を導入したキャベツ型戻し交雑後代における抵抗性発現 ○小原隆由[1]・丹羽智久[1]・吹野伸子[1]・柿崎智博[1]・板橋悦子[1]・石田正彦[1]・畠山勝徳[2]・松元哲[3]（[1]農研機構野菜花き部門，[2]岩手大，[3]農研機構東北農研）	**収穫後生理 1** **後藤丹十郎** 花 013 屋内の光強度の違いがエラチオール・ベゴニアの観賞性に及ぼす影響 ○中島拓[1]・望月寛子[2]・安藤利夫[1]・鈴木健[1]・熱田圭佑[1]・市村一雄[2]（[1]千葉農林総研セ，[2]農研機構野菜花き部門）	**キウイフルーツ加工・軟化** **生駒　吉識** 利 008 キウイフルーツ 3 品種における湯剥きによる簡易剥皮の検討 ○村上覚[1]・山口和希[1]・佐々木俊之[3]・野口真己[2]（[1]静岡農技研果樹研セ，[2]農研機構本部，[3]静岡西部農林事務所）	9:00
野 058 *Brassica rapa* L. と *Eruca sativa* Mill との属間交雑系統当代の育成－（第 2 報） ○上西愛子[1]・聖代橋史佳[1]・菊池真司[2]・木庭卓人[2]・吉田誠[1]・北宜裕[1]（[1]神奈川農技セ，[2]千葉大園芸学研究科）	花 014 カーネーションの切り花におけるエチレン感受性の特性について ○東未来・市村一雄（農研機構野菜花き部門）	利 009 ‘レインボーレッド®’ キウイフルーツの低温長期貯蔵と成熟関連遺伝子の発現解析 ○笠原有加[1]・Asiche, William Olubero[1]・Oscar, Mitalo Witere[1]・土佐康彰[1]・常盤淑玲[2]・牛島幸一郎[1,2]・中野龍平[1,2]・片岡郁雄[3]・末澤克彦[4]・久保康隆[1,2]（[1]岡山大環境生命科学研究科，[2]岡山大農学部，[3]香川大農学部，[4]香川農試）	9:15
野 059 関東地方の伝統野菜「のらぼう菜」（*Brassica napus* L.）における遺伝的多様性の評価 ○柘植一希[1]・陳蕤坤[2]・吉岡洋輔[3]・大澤良[3]・元木悟[4]（[1]明治大院農学研究科，[2]筑波大院生命環境科学研究科，[3]筑波大生命環境系，[4]明治大農学部）	花 015 キンギョソウの受粉による花弁脱離の品種間差におけるエチレン生成能の関与 ○市村一雄[1]・加藤美紀[2]・小幡彩夏[3]・東未来[1]・種谷光泰[2]・仁木朋子[1]（[1]農研機構野菜花き部門，[2]千葉農林総研セ，[3]東京農林総研セ）	利 010 3 品種のキウイフルーツにおける成熟関連遺伝子のエチレン応答と温度特性 ○土佐康彰[1]・ミタロオスカー・ウィテレ[1]・アシチェウィリアム・オルベロ[1]・笠原有加[1]・常盤淑玲[2]・牛島幸一郎[1,2]・中野龍平[1,2]・久保康隆[1,2]（[1]岡山大院環境生命科学研究科，[2]岡山大農学部）	9:30
野 060 食用ギク在来系統の諸特性（第三報）－現存系統の探索と収集（1）－ ○佐藤淳[1]（[1]新潟農総研園研）	花 016 キンギョソウ切り花における受粉による脱離誘導，エチレンに対する感受性および自己触媒的エチレン生成能の品種間差 ○小幡彩夏[1]・東未来[2]・湯本弘子[2]・岡澤立夫[1]・市村一雄[2]（[1]東京農林総研セ，[2]農研機構野菜花き部門）	**収穫後生理** **（遺伝子発現解析）** **加藤　雅也** 利 011 モモ果実の軟化に関与する PpEXP1 の機能解析に向けた基礎的研究 ○松山佳織[1]・小野裕美[2]・今井友也[3]・石丸恵[1]（[1]近畿大院生物理工学研究科，[2]近畿大生物理工学部，[3]京都大生存圏研）	9:45
栽培（アブラナ科等） **澤里　昭寿** 野 061 道北地域でのコマツナの厳冬期栽培に向けた播種期および被覆資材の検討 ○地子立（北海道総研機構上川農試）	**収穫後生理 2** **神谷　勝己** 花 017 ダリア切り花におけるベンジルアデニンの動態と日持ち性への影響 ○東明音[1,2]・窪田聡[1]・腰岡政二[1]（[1]日本大院生物資源科学研究科，[2]クリザール・ジャパン㈱）	利 012 Effect of storage temperature on color development and related gene expression in Satsuma mandarin fruit ○ Mitalo, Oscar Witere[1]・Asiche, William Olubero[1]・Kasahara, Yuka[1]・Tosa, Yasuaki[1]・Tokiwa, Sumire[2]・Ushijima, Koichiro[1,2]・Nakano, Ryohei[1,2]・Kubo, Yasutaka[1,2]（[1]岡山大院環境生命科学研究科，[2]岡山大農学部）	10:00
野 062 冬春ダイコンの生育における地球温暖化の影響評価（第 1 報）気温データからの生育予測 ○高田敦之[1]・岡田邦彦[2]（[1]神奈川農技セ，[2]農研機構野菜花き部門）	花 018 ダリア切り花の日持ち性における品種間差と形態的特性の関係 ○辻本直樹[1,2]・仲照史[2]・虎太有里[2]（[1]奈良北部農林振興事務所，[2]奈良農研セ）	利 013 カラーピーマン果実に対するエチレンおよびジャスモン酸メチル処理がカロテノイド代謝関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ○永田雅靖[1]・吉田千恵[2]・松永啓[3]（[1]農研機構食品部門，[2]宮城園総研，[3]農研機構野菜花き部門）	10:15

第 2 日　9 月 11 日（日）　10:30 ～ 12:00

時間	果樹 I N205	果樹 II N206	果樹 III N207	野菜 I N321	野菜 II N322
10:30	果 017 透湿性光反射シートを被覆したウンシュウミカン‘石地’主幹形仕立てにおける肥効調節型肥料の土壌混和が窒素溶出に及ぼす影響 ○竹岡賢二・川崎陽一郎・塩田俊（広島総研農技セ）	果 040 休眠覚醒期におけるリンゴ休眠芽のトランスクリプトーム解析 ○竹内貴規[1]・山根久代[1]・伴野潔[2]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]信州大農学部）	果 062 雄品種‘さぬき花粉力’を利用したマタタビ属種間雑種‘香粋’の自然受粉における雄樹からの距離が結実と果実品質に及ぼす影響 ○福田哲生[1]・片岡郁雄[2]・水谷亮介[1]・真鍋徹郎[1]・末澤克彦[1]（[1]香川農試府中果樹研，[2]香川大農学部）	野 019 トマト抑制栽培において尻腐れ果発生に及ぼす地上部環境の影響 ○樋江井清隆[1]・髙木俊輔[1]・番喜宏[1]・東出忠桐[2]（[1]愛知農総試，[2]農研機構野菜花き部門）	野 040 ネギ属トランスクリプトームデータベース Allium TDB を活用した *Allium cepa* 連鎖地図の構築 ○藤戸聡史[1]・山下謙一郎[1,6]・若生忠幸[1]・塚崎光[1,7]・山北和香[2]・佐藤修正[3]・平川英樹[4]・執行正義[5]（[1]農研機構野菜花き部門，[6]農研機構西日本農研，[7]農研機構東北農研，[2]山口大農学部，[3]東北大院生命科学研究科，[4]かずさ DNA 研，[5]山口大院創成科学研究科）
10:45	果 018 ウンシュウミカン果実が固定した CO_2 の移動と蓄積 ○冨谷有喜・名田和義・平塚伸（三重大院生物資源学研究科）	果 041 リンゴ‘ふじ’の自発休眠開始期における *lipase* 遺伝子（*MdLIP2*）のクロマチンリモデリングについて ○齋藤隆徳[1]・大川克哉[1]・小原均[2]・近藤悟[1]（[1]千葉大院園芸学研究科，[2]千葉大環境フィールド科セ）		野 020 トマトの側面裂果発生に及ぼす植物体水収支と果皮強度特性の影響 ○本間貴司・矢田和寛・金子賢一（茨城農総セ園研）	野 041 ホウレンソウの簡易雌雄判別法の開発 ○藤田尚子[1]・鮎川侑[1]・福家光敏[2]・渡辺京子[3]・有江力[1]・小松健[1]（[1]東京農工大・[2]（株）アースノート・[3]玉川大）
11:00	**カンキツ 3** **國武　久登** 果 019 佐賀県唐津市在来の香酸柑橘‘ゲンコウ’の果汁および果皮に含有される成分について ○古藤田信博[1]・田口奈穂子[1]・土井智子[1]・伊東佳那子[1]・山口真奈美[1]・納冨麻子[2]（[1]佐賀大農学部，[2]佐賀果樹試）	**カキ** **新川　猛** 果 042 ‘平核無’の小果突然変異体‘突核無’の果実におけるサイトカイニン含量および遺伝子発現の変化 ○内藤一平[1]・西山総一郎[1]・高居恵愛[2]・山根久代[1]・田尾龍太郎[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]石川県立大附属農場）		**栽培 2（トマト）** **菊地　郁** 野 021 高糖度トマト栽培のためのリング処理技術の確立 ○原田恭宏・高畑健・峯洋子（東京農大農学部）	**遺伝子解析 3** **矢野　亮一** 野 042 レタスの *DREB1* オルソログ遺伝子の機能解析 ○宇野雄一[1,2]・山田晃紀[1]・村岡文香[2]・関功介[3]（[1]神戸大院農学研究科，[2]神戸大農学部，[3]長野野菜花き試）
11:15	果 020 中国雲南省におけるカンキツ遺伝資源の調査 ○山本雅史[1]・楊学虎[2]・北島宣[3]・永野幸生[4]（[1]鹿児島大農学部，[2]雲南農業大園林園芸学院，[3]京都大院農学研究科，[4]佐賀大総合分析セ）	果 043 台木がカキ‘太秋’の着花に及ぼす影響 ○鉄村琢哉[1]・石村修司[1]・瀧田隆志[1]・船木昭吾[1]・内田大晴[1]・日高拓未[1]・原ノ後翔[1]・黒木志郎[1]・松尾光弘[1]・本勝千歳[1]・千々和浩幸[2]（[1]宮崎大農学部，[2]福岡農林試）		野 022 ソバージュ栽培におけるミニトマトの着色段階の違いが貯蔵日数と果実品質へ及ぼす影響 ○藤尾拓也[1]・吉田泰[1]・折笠貴寛[2]・加藤一幾[2]・小笠原裕[3]・法領田匠[3]・松浦拓也[1]・田代勇樹[1]・川村浩美[1]（[1]岩手農研セ，[2]岩手大農学部，[3]（株）岩手缶詰）	野 043 Whole genome bisulfite sequencing によるハクサイの DNA メチル化領域の探索 ○福島尚樹[1]・高橋聡史[2]・板橋悦子[1]・清水元樹[3]・安田剛志[1]・鈴木穣[3]・関原明[2]・藤本龍[1]（[1]神戸大院農学研究科，[2]理化学研究所環境資源科学研セ，[3]岩手生物工学研セ）
11:30	果 021 ヒマラヤンライム等のブータンで発見した興味深いカンキツ遺伝資源 ○永野幸生[1]・Tshering, Penjor[2,3]・三村高史[2]・古藤田信博[2]・松本亮司[2]・永野惇[4,5,6]・本庄三恵[4]・工藤洋[4]・山本雅史[7]（[1]佐賀大総合分析セ，[2]佐賀大農学部，[3]Renewable Natural Resources Research Centre Wengkhar, [4]京都大生態研，[5]JST PRESTO, [6]龍谷大農学部，[7]鹿児島大農学部）	果 044 カキ‘前川次郎’の酵素剥皮処理における剥皮性の評価 ○山口和希[1]・鈴木麻友[1,*]・服部憲明[1]・村上寛[1]・喜多正幸[2,**]・野口真己[2,***]・佐々木俊之[1]（[1]静岡農技研果樹研セ，[2]農研機構果樹茶部門，[*]志太榛原農林事務所，[**]農研機構近中四農研，[***]農研機構本部）		野 023 夏秋期のトマト施設栽培における作業者と植物体への暑熱対策と増収技術に関する研究 ○高橋正明[1]・小池修[1]・酒井博幸[2]（[1]宮城農園研，[2]宮城農林水産部農振課）	野 044 *Brassica rapa* L. における開花関連遺伝子 *FRIGIDA* の発現解析および全長配列の決定 ○高田紗都子・板橋悦子・宮路直実・安田（高崎）剛志・藤本龍（神戸大院農学研究科）
11:45		果 045 カキ果実におけるへたを経由した放射性セシウム汚染経路の解明（第 2 報） ○関澤春仁[1]・佐藤真理[4]・相原隆志[2]・濱松潮香[3]・八戸真弓[3]（[1]福島農総セ，[2]福島農総セ会津地域研，[3]農研機構食品部門，[4]元福島農総セ）		野 024 夏秋トマトにおける不織布ポットを用いた栽培での生産能力 ○熊崎晃・二村章雄（岐阜中山間農研）	野 045 ハクサイにおける萎黄病菌感染時のトランスクリプトーム解析による病害反応遺伝子の調査 ○宮路直実[1]・清水元樹[2]・高田紗都子[1]・加治誠[3]・安田（高崎）剛志[1]・岡崎桂一[4]・藤本龍[1]（[1]神戸大院農学研究科，[2]岩手生工研，[3]（株）渡辺採種場，[4]新潟大院自然科学研究科）

第 2 日　9 月 11 日（日）　10:30 ～ 12:00

野菜 III N323	花き I N305	利用 I N307	時 間
野 063 種根茎の重さと植付け時期の違いがガジュツの生育・収量等へ及ぼす影響 ○杉村和実（宮崎総農試薬草セ）	花 019 ベンジルアミノプリン溶液の浸漬処理と冷蔵期間が湿地性カラー切り花の日持ちに及ぼす影響 ○海老原克介[1]・種谷光泰[1]・柏崎佑二[2]・市村一雄[3]（[1]千葉農林総研セ , [2]千葉県庁 , [3]農研機構野菜花き部門）		10:30
野 064 26 年間超低温保存したワサビ種子発芽個体の生育 ○ 馬場富二夫[1]・久松 奨[1]・本間義之[2]・石川雅也[3,4] （[1]静岡農林技研伊豆研 , [2]静岡農林技研 , [3]東京理科大 , [4]東京電機大）	花 020 大輪八重咲き系トルコギキョウの蕾切り切り花におけるジャスモン酸メチルの処理条件の検討 ○水野貴行・福田直子・湯本弘子（農研機構野菜花き部門）		10:45
環境制御（光質） **切岩　祥和** 野 065 光合成のエネルギー分配に着目した赤色・青色 LED 交互照射によるリーフレタスの成育促進要因の解析 ○名田和義[1]・河村慶太[1]・遠藤穣[2]・執行正義[3]・平塚伸[1]（[1]三重大院生物資源学研究科 , [2]三重大生物資源学部 , [3]山口大院創成科学研究科）	**繁殖・形態** **川勝　恭子** 花 021 マドンナリリー（*L. candidum*）のりん片繁殖 ○河原林和一郎[1,2]（[1]静岡大農学部 , [2]無所属）		11:00
野 066 青色光による連続照明ならびに二酸化炭素施用処理はレタス幼植物体においてクロロゲン酸蓄積を促進する ○下村未知瑠[1]・吉田英生[2]・有泉亨[2]・江面浩[2]・福田直也[2]（[1]筑波大院生命環境科学研究科 , [2]筑波大生命環境系）	花 022 リンドウ 1 年生株における主塊茎発達過程の観察 ○阿部弘（岩手農研セ）		11:15
野 067 赤色 / 遠赤色光比の高い光照射下でのキュウリ実生の成長速度の低下は葉の拡大が抑制されることで起こる ○渋谷俊夫[1]・林早紀[2]・遠藤良輔[1]・北宅善昭[1]（[1]大阪府大院生命環境科学研究科 , [2]大阪府大生命環境科学域）	花 023 水生シダ植物ケラトプテリスカルスの長期保存の試み ○三國智葉・安部文貴・栗山昭（東京電機大院理工学研究科）		11:30
野 068 近接照射用 UV-B 電球形蛍光灯による紫外線照射がトマトの生育，収量および品質に及ぼす影響 ○渡邉圭太[1]・西野勝[1]・藤原英世[1]・神頭武嗣[1]・内橋嘉一[1]・佐藤文生[2]・有井雅幸[3]（[1]兵庫農技総セ , [2]農研機構野菜花き部門 , [3] デザイナーフーズ（株））	花 024 トルコギキョウの立枯病抵抗性育種に関する研究（第 1 報）水耕装置を用いた抵抗性検定法の開発 ○小野崎隆[1]・佐藤衛[1]・水谷祐一郎[2]・福田直子[1] （[1]農研機構野菜花き部門 , [2]兵庫農総セ農技セ）		11:45